

公民館等の使用料見直しに関する意見交換会

◆日 時：令和8年4月20日（金）～5月1日（金）

◆会 場：市内各公民館及び分室

◆出席者：全115名

【主な意見】

○今まで通り100%減免をお願いしたい。我々の講師はボランティアであり、公民館使用料がかかっていないため会費を取らずに運営してきた。もし、会費を徴収するようになった場合、今後、会が続けられるかどうかを検討しなければならない。無料で使用できていたから、自主的にそういう活動ができている。

○平公民館と分室で施設を利用しているが、畳がボロボロで、衣服についてしまうような状態であり、老朽化しているのは実感している。修繕に当たっては、お金が必要なことなので、使用料を払うこともやむを得ないと思う。しかし、他で徴収しているから、ここも取らなきゃいけないというところで比較しないでいただきたい。

○市民であれば誰もが平等に公的な機関を使える、そして、そこでいろいろな社会活動ができいくことが必要ではないかと思う。私たち高齢者が健康で安心して学習することなど、色々なことに関心を持ち、企画し、施設を使う。今でも冷暖房料をお支払いしている訳だが、さらに施設ごと有料化となり、負担が掛かるとなったら、施設に来て活動すること自体が根本的に制限されてしまう。また、人間性を広げていく上でも、こういう活動を通じ、いろんな人とつながっていくことにより、広げていくことができると思うし、孤立を防ぐことにもつながる。是非、今までのように、安心して施設が使えることを私たちは強く望んでいる。

○大町市は県下でも公民館活動が大変盛んな市だと思う。ハード面だけではなく、ソフト面で今後の公民館活動をどうしていくかっていうところが、一番不安なところである。施設は充実しており、大変ありがたいが、中身を今後どうしていくかというところが重要だと思う。現在は、高齢化が進み、一人暮らしの方が多くなっている。仲間を増やすことが地域の活性化や、あるいは健康づくりにつながると考える。地域の中でつながりがなくても、サークル活動に入ることにより、人との出会いが生まれ、輪が広がるという方も大変多い。私どもの各種団体と行政が一体となり、こういうものを作り上げていこうということがこれからも色々やっていけたらと思っている。地域の文化や福祉や健康やそういうものを育てていける活動ということを是非ご検討いただきたい。

○健康で豊かな生活をするために、皆さんサークル活動で一生懸命頑張っており、今まで100%減免のなかでやってきた。これが50%とかになった場合、会が存続できなくなり、やめなきゃいけなくなる。せっかく今まで盛り上げてきたものが、全部潰れてしまう。お互いが歩みより、本当は今までどおり100%減免をお願いしたいが、例えば75%や80%とかっていうことも考えていただきたい。職員の皆さん、本当に頑張って

おられると思うが、もう少し、使用者の気持ちを考え、お互いに歩み寄れる形の提案をお願いしたい。

○公民館活動は行政と地域住民が一緒になって推進していくものであり、利用者は当事者であると考えている。官民で一緒になって発展させるべきである。まずは、公民館活動の在り方について話し合いを行うことが必要だと考える。また、文化祭や雪形まつりはサークル活動の発表の場であり、地域住民に感動を与えるものと考え、サークル活動は「私益的」でないと考えている。市民に寄り添った公民館であってほしい。

○公民館講座をきっかけにサークルに参加している。減免措置など公民館のバックアップで約 10 年継続してきた。健康で豊かな生活づくりや社会教育に貢献している自負があり、大町市民の精神的・身体的な健康維持に働きかけている活動であることから、減免の継続をお願いしたい。複数のサークルで公民館を利用しており、冷暖房費として年間約 1 万円を納めているが、講堂の使用料を負担することになると年間約 10 万円払うことになる。出費を抑えるためには活動時間の短縮や利用する部屋の変更など、活動を萎縮せざるを得ない。公民館が推進する「健康で豊かな生活」の趣旨に反し、萎縮してしまうのではないかと。活動自粛となる不安があるため、一足飛びに 50%減免にするのではなく、75%や 80%など現行に近い減免率を検討してほしい。

○サークルをやっていない人は何とも思わないが、やっている人にとっては施設あつてのサークル活動であり、その門戸や敷居が高くなつては本末転倒である。公民館講座やサークル活動を知らずに、選挙や健診でしか公民館を使わない人もいる。市民が行きやすい公民館であってほしい。公民館は市民のものであり、市のものであつては困る。

○子どもに関することで要望を伝えたい。次世代に負担を転嫁させないという趣旨のもとやっていると思うので、できるだけ児童福祉、子どもに関することは減免率を高くしてもらいたい。利用料を取ることで子どもたちが施設を使わなくなること文化活動自体が希薄になり、その子どもたちが大人になった時に、価値がわからない状態になることは、20・30 年後に危惧されるので留意していただきたい。

○8 か所で説明会を開き、ご尽力いただいて感謝する。夜間のみだったのが昼間も開催いただいた。6 回ほど顔出して意見を聞いてきた。高齢者、子どもからの願いもあった。サークルの中で何とかやってきた経過もある。税金の使い方についても意見が出た。大町の公民館活動は歴史的な活動をしている。山博は公民館活動の中から出来たものである。行政だけでなく利用者とやってきた。公民館は誰のものか？公民館は中心的、学ぶ権利を保障する場所である。